

平成 28 年 5 月 27 日

意見書

足柄上商工会経営発達支援計画事業評価委員会

仁科 亮

1. 認定された足柄上商工会経営発達支援計画について

- ・日本酒製造業が多いなどの地域資源に農村文化を加味し、地域の独自性を打ち出そうとする計画であり、地域および特産物等のブランド化につながるものと期待できる。
- ・「アンテナショップまちの駅あしがら」を活用したテストマーケティングや商品の開発改良については、待ちの姿勢だけでなく、積極的な攻めの行動計画をもって実施されたい。
- ・特産物等のブランド化には、行政との連携協力体制を欠かすことができない。地域資源の活用事例やイベント等の実施状況、支援対象事業者の経営動向などについて、定期的に情報交換会や意見交換会(連絡協議会)を開催するなどして、連携協力関係を強化されたい

2. 平成 27 年度経営発達支援事業の実施結果について

- ・平成 27 年度は、地域経済動向や地域資源の調査を中心に行なわれ、今後の小規模事業者の事業計画策定の基礎資料をととのえており、今後の支援計画実施に役立つものと期待できる。
- ・事業実績においては、「事業計画策定支援に関すること」「メディア活用数」以外について、目標値をクリアしており、積極的な取り組みがなされていると判断できる。
「経営分析に関すること」は、達成率 232.5%(目標値 40 社に対して実績 93 社)、
「事業計画策定支援に関すること」は、達成率 58.7%(目標値 240 社(回)、実績 141 社(回))、
「地域の経済動向調査に関すること」は、達成率 150.0%(目標値 2 件に対して実績 3 件)
「需要動向調査に関すること」は、達成率 100.0%(目標値 1 件に対して実績 1 件)、
「新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」(メディア活用数)は、達成率 84.0%(目標値 25 回、実績 21 回)、
「創業支援に関すること」は、達成率 140.0%(目標値 5 件に対して実績 7 件)

3. 平成 28 年度経営発達支援事業 伴走型支援について

- ・平成 27 年度の地域経済動向調査、需要動向調査等の結果を生かして、地域の小規模事業者の、実現可能性の高い事業計画策定支援に力を入れ、地域資源および地域の特性を生かした特産物や観光開発等につなげていくことが望まれる。
- ・具体的にはアンテナショップまちの駅あしがらの活用強化(広告宣伝プロモーション強化)、域内行政との情報交換、連携協力体制の強化等をおこないより高い成果を実現できるように取り組まされたい。